

## 新城地域自治区予算事業に関する建議書



新城地域協議会は、新城市地域自治区予算事業計画策定要綱に基づき、平成30年度実施に向けた地域自治区予算事業について検討を重ねてまいりました。その結果、3つの主要課題が浮かび上がりました。

1つめは高齢化への対応です。新城地域自治区は、高齢世帯数が年々増加しているため、日常生活における細やかな支援が必要とされます。2つめは、地域防災への取り組みです。住宅密集地であるため、行政区が連携した防災体制を構築することが必要とされます。3つめは、共育の推進です。こどもの数が減少しているからこそ、学校と地域が連携して子育て環境を充実させることが必要とされます。そこで、これら3点の課題解決を中心に、地域の将来を見据えた事業計画を決定いたしました。

つきましては、平成30年度新城市地域自治区予算で行う新城地域自治区予算事業計画について、地方自治法第202条の7第1項第2号に基づき、以下のとおり建議します。

### ● 平成30年度 新城地域自治区予算 予算総額 7,269千円

#### ● 事業計画

##### 1 地域まちづくり・人材育成のための事業

###### (1) 高齢化社会対策事業 1,059千円

地域内の住民を中心として、元気で住み続けられる新城地域自治区を目指し、活力あるまちづくりが実践できる事業を実施する。平成30年度も平成29年度に引き続き、高齢者の外出誘発と高齢者の日常生活支援をテーマに事業実施する

###### (2) 新城まちなみ調査事業 184千円

地域の伝統文化を継承するため、新城地域自治区内の古い町並、歴史資源を調査し、マップの作成を実施する。

###### (3) 地域計画策定事業 419千円

新城地域自治区の将来像を明確にするため、地域計画の策定をする。地域計画についてのワークショップ等を開催する。

##### 2 地域の安全・安心のための事業

###### (1) AED普及推進事業、AED設置事業 920千円

24時間利用可能な場所へのAED設置により、地域住民の安全と安心の向上を図る。

###### (2) 地域安全灯設置費補助事業 599千円

地域安全灯の設置に係る行政区負担分の軽減により、地域安全灯の設置を推進し、地域住民の安全・安心及び防犯意識の高揚を図る。

###### (3) 防災専門部会運営事業 1,144千円

平成29年度に立ち上がった、各行政区の自主防災会長及び防災専門員からなる「防災を考える会」運営により地域の自主防災活動の連携及び充実を図る。また、防災リーダー（防災士）となれる人材を育成するとともに、地域の防災マップ、防災計画の

作成、避難所（新城小学校）の防災資機材を整備し、地域の防災活動の充実を図る。

(4) 自主防災組織防災活動援助事業 1,011千円

自主防災会への防災資機材等を整備し、防災活動の充実を図る。

(5) 防犯カメラ設置費補助事業 50千円

防犯カメラの設置により街頭犯罪が抑止され、地域住民の安全・安心の向上を図る。

(6) 交通安全対策事業 206千円

各地区の交通立ち番の装備を充実させ、交通安全意識の強化を図る。

### 3 地域の子どもたちのための事業

(1) 保育所管理事業 422千円

新城こども園のプールサイドの日除けのためのテントを整備し、園児が安全にプールを利用することにより、保育・幼児教育の質の向上を図る。

(2) 小学校教材等整備事業 415千円

児童や地域が共に利用する備品等の環境整備を実施し、学校と地域の連携を図る。

(3) 中学校教材等整備事業 840千円

学校と地域が関連する行事に利用する備品等を整備し、学校と地域の連携を図る。

平成29年10月12日

新城市長 穂積亮次様

新城地域協議会 会長

上田寿彦